

## JA 秋田おぼこ 広域園芸部会交流会で 市内生産者が入賞

2月18日、JA 秋田おぼこの平成27年度広域園芸部会交流会が大仙市で開催され、アスパラガス部門で小玉均さん（角館町川原寺前）が最優秀賞を、ほうれんそう部門で佐藤信行さん（西木町上楡木内）が優秀賞を受賞しました。また、しいたけ部門で農事組合法人ドリームTAZAWAKOファーム（田沢湖生保内）が、特別賞を受賞しました。



アスパラガス部門で最優秀賞を受賞した小玉均さん。



ほうれんそう部門で優秀賞を受賞した佐藤信行さん。



しいたけ部門で特別賞を受賞した農事組合法人ドリームTAZAWAKOファームのスタッフの皆さん。

## 国際ソロプチミスト大曲が 絵本200冊を寄贈

3月3日、仙北市子育て支援施設「さくらっこ」に国際ソロプチミスト大曲（伊藤智子会長）から子育ての役に立ててほしいと、絵本約200冊が寄贈されました。国際ソロプチミストは、管理職や専門職に就いている女性の国際ボランティア奉仕組織で、昨年5月にも同施設にテーブルと椅子を寄贈いただきました。さくらっこの運営を行う子育てサポート「はっぴい・ママ」の茂木一代代表は「こんなにたくさん絵本をいただけてうれしい。前回いただいたテーブルと椅子も大切に使用してもらっています」とお礼を述べました。



伊藤智子会長（右）から目録を受け取る茂木一代代表（左）。

## 心の居場所づくりセミナー

### 安心できる心の居場所を

2月29日、心の居場所づくりセミナーが角館交流センターで開催され、ヘルスプロモーション推進センター代表で医師の岩室紳也先生が、人と人とのつながり合うことで育む心の健康について、講演を行いました。

「人は楽しいイメージを持つことができれば、そこがその人の心の居場所になる。今こそ一人ひとりがお互いを支え合いながら生きて行こう」と、コミュニケーションの大切さ、人と人とのつながり、関係性づくりの大切さについて呼びかけました。



会場には約80人が集まり、岩室氏の話を中心にメモしたり、質問に答えたりしていました。

## 角館雛めぐりに町内賑わう

### 歴史ある雛人形が並ぶ

角館町の「角館雛めぐり」が町内の観光施設など48か所で開催されました。

2月20日には、仙北市商工会角館本所「かつらぎ」でオープニングセレモニーが行われ、地元小学生が手踊りを披露したほか、来場者に餅や甘酒が振る舞われました。

この雛めぐりは、現在まで伝わっている享保雛や古今雛、角館押絵や土人形などを展示。ス



オープニングセレモニーでは、子どもたちの艶やかな手踊りが披露され、賑わいをみせました。

## わら松明で害虫を追い払う なるか



2月22日、生保内地区で小正月行事「なるか」が行われました。「なるか、ならねか…」と唄いながら、豊作を祈り火の付いた稲わらで、田んぼの害虫を追い払う、古くからの伝統行事です。



仙北市役所田沢湖庁舎前広場には、たくさんの方が集まり、お焚き上げが行われました。



2月22日、中里賽之神堂前（楡木内字中里）で行われた県指定無形民俗文化財の「中里の Kandeko あげ」。

Kandekoとは、朴の木で作った小型の鍬とくるみの木で作った男根を一對にしたもので、これを神木に投げかけると願いが叶うといわれています。

参加者は、神木である桂（市指定天然記念物）に豊作や縁結びなどの願いを込めて投げました。



## 神木へ豊作や縁結びを祈る 中里の Kandeko あげ

簡単そうに見える Kandeko あげですが、うまく枝にかけられるにはコツがあるようです。願いを叶えるため、次々と Kandeko が投げられました。



## 仙北市農山村体験推進協議会が オーライ！ニッポン大賞受賞

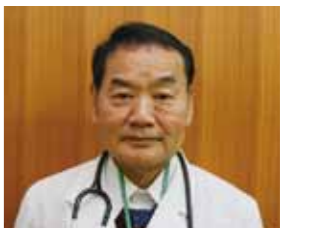
オーライ！ニッポン会議と農林水産省では、都市と農山漁村との間の「人・もの・情報」の往来（おうらい）を盛んにすることで、日本全国が元気（All right）になることをめざす国民運動「都市と農山漁村の共生・対流」の優れた取り組みに対して表彰を行っています。このたび全国184件の応募の中から仙北市農山村体験推進協議会が選出され「第13回オーライ！ニッポン大賞」を受賞しました。



帝国ホテルで行われた表彰式に出席した同協議会の門脇富士美会長（右）と田口久義副会長（左）。

【仙北市農山村体験推進協議会】平成20年に農山村を中心とする子ども交流の受け入れ組織として設立。市内観光協会、行政、農協、グリーンツーリズム受け入れ団体などで構成。

## 神代診療所の 伊藤貞男先生が 退職のあいさつ



今月末でご勇退の伊藤貞男先生。

私が神代診療所に赴任して、早くも14年の歳月が過ぎていきました。多くの患者さんたちと、病気の悩みや生活上の問題、さらに生き方なども含めて話し合ってきました。また周辺の医療機関、介護関係者の皆さまとも様々なやり取りをいたしました。

今、仙北市のみならず、全国のあらゆる地域が、少子高齢化の波にさらされております。仙北市が町村合併して10年余

りになりますが、まだ合併前の3町村の綱の引き合いがおこなわれている気がします。今こそ仙北市がひとつになって、将来のあるべき姿を模索する時ではないでしょうか。

市立病院が新しく建て替えられますが、新病院を核にして田沢湖病院や二つの診療所が、それぞれの役割を果たしつつ協力して、地域住民が安心して暮らすことができる環境を整うことを期待しております。

私自身の医療活動は微力ではありましたが、地域の皆さまと存分にふれあうことができ、私の財産となりました。地域の皆さまの健やかな生活と、仙北市の発展と充実を心から祈っております。長い間お世話になりました。

平成28年3月1日 伊藤貞男

### 田沢湖図書館で呉日絵画展

#### 絵画の魅力が満載

田沢湖図書館では、このたび河正雄氏から寄贈された絵画15点を公開する展覧会を開催しています。2月25日にオープニングセレモニーが開催され、河正雄氏ご夫妻、呉日画伯の妹・呉信子さんを迎え、多くの列席者が見守る中、テープカットが行われました。

呉日絵画展は、3月25日まで開催しています。開館時間は、休館日を除いて午前9時から午後6時までです。この機会にご覧ください。



オープニングセレモニーでのテープカット（上段。仙北市への思いを話す河正雄氏ご夫妻。右。寄贈された絵画。下段・左。

### やさしいまちづくりセミナー

#### 安心できるまちづくり

2月23日、神代中学校でユニバーサルツーリズム（誰でも安心して観光できるまちづくり）セミナーが開催されました。

講師に（一社）ネイバースサポート推進協会の鴨志田明専務理事を迎え、ユニバーサルツーリズムに関するお話やアイマスクをしての介助体験を行ったほか、ANA客室センターの熊谷未央氏（秋田県出身）が、CA（キャビンアテンダント）の仕事



クイズコーナーでは生徒たちから元気な声と挙手があり、CAの仕事に多くの質問がありました。

事を説明し、機内アナウンスを披露するなど、生徒からは大きな拍手が沸き上がりました。

## お祝いのお祝い

おめでとうございます

白寿を迎えられた福田マサノさん（角館町川原町）に、2月22日、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



白寿を迎えられた福田マサノさん（前列中央）とご家族の皆さん。これからも元気で過ごしてください。

## 第11回 仙北市民 スキー大会



第11回仙北市民スキー大会が、2月11日にたざわ湖スキー場で開催されました。

大会成績は次のとおりです。

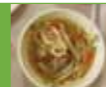
各種目1位選手（敬称略）

〔アルペン〕▼1年女子大回転B 吉田清 ▼同男子 佐藤丈 ▼2年女子大回転B 佐々木碧波 ▼同男子 藤川桂太 ▼3年女子大回転B 田中結衣 ▼同男子 藤田賢生 ▼4年女子大回転A 高橋あめり ▼同男子 田口天太 ▼5年女子大回転A 佐々木爽榮 ▼同

男子 田中恒清 ▼6年女子大回転A 八塚晴花 ▼同男子 齋藤千輝 ▼中学女子大回転A 佐藤凜 ▼同男子 高田京志郎 ▼一般男子A 齋藤千歳 ▼同B 藤川悟志 ▼同C 佐々木逸人 ▼同D 大山忠榮 ▼一般女子B 田村生子 ▼同C 佐々木珠代

〔クロスカントリー〕▼2年女子1.2K 木元陽南美 ▼同3年女子 佐々木栞奈 ▼同3年男子 藤村康太 ▼4年女子2K 荒澤愛凜 ▼同4年男子 遠藤卓 ▼同5年女子 若生美空 ▼同5年男子 鈴木勇太郎 ▼同6年男子 藤川空宙 ▼中学女子4K 熊谷瞳瑠 ▼同男子 樋口優輝 ▼リレーファミリース生保内中（大澤・高橋・島山） ▼同中学男子 神代中A（樋口・佐々木・藤本） ▼同小学女子 神代XCF（樋口・細川・荒澤） ▼同小学男子 神代XCA（布谷・大山・藤川）

### ねばりごしうどんを給食で提供



#### 地場食材の利用拡大

2月22日、角館白岩地区の花園小麦生産組合（草薨晃代表）の栽培小麦「ねばりごし」を使ったうどんが神代、生保内の小学校の給食で提供されました。

これは、仙北市食育推進会議の事業の一環で、地産地消などを目的としています。ねばりごしうどんは、通常のうどんより黒っぽく、強いコシが特徴のこと。今回は「煮込みうどん」として提供されました。児童た



強いコシがねばりごしうどんの特徴。給食で美味しく味わう生保内小学校の児童たち。

ちは「とても美味しい」「ねばりごしを知ることができた」などと、美味しく味わいました。

### 交通安全母の会が安全教室



#### 入学シーズン前に呼びかけ

仙北市交通安全母の会（草薨良子会長）の会員が2月22日から26日まで、4月から小学校に入学する園児を対象とした交通安全教室を市内の保育園、幼稚園で実施しました。

リーフレットや模型を使い、横断歩道を渡る際は通行車両をよく確認し、自分自身のことを周りに知らせるため必ず手を挙げるなど、交通事故防止のための呼びかけをしました。



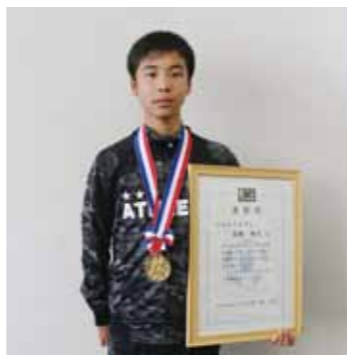
春から入学する園児たちに、わかりやすく交通安全の大切さを教えます。

これから新入学・入園シーズンを迎えますので、交通事故防止にご協力をお願いします。

## サッカー U-12 高橋翔大くんが 県ベストイレブンに！

（一社）秋田県サッカー協会は2月13日、小・中・高校世代の各ベストイレブンを発表し、仙北市から美郷 FC に所属する高橋翔大くん（生保内小6年）が選出されました。

今年度の県の主な大会でも得点王になるなどの活躍を見せた高橋くんは「プロを目指してこれからも頑張りたい」と話しました。将来の明確な目標が高まります。



3月3日、仙北市役所田沢湖庁舎に報告に訪れた高橋翔大くん。「ゴールを決めた瞬間が最高にうれしい」とサッカーの魅力を感じました。今後はさらに練習を積んで「リーガー」を目指します。

## 仙北市内医療・福祉・介護多職種研修会

2月17日、西木温泉ふれあいプラザクリオンに、仙北市内の医師・歯科医師をはじめとする医療・福祉・介護の専門職が集まりました。



仙北市内の医療、福祉、介護の専門職の方々による研修会。それぞれの立場から積極的な意見交換が行われました。今後も研修会の開催を計画しています。

この研修会は、在宅医療に関わる多職種の専門職の連携を目的に、仙北市在宅医療・介護連携推進協議会準備会が主催したものです。私たちが生活していく中で「医療」「福祉」「介護」が関わる局面が多々あり、さまざまな職種の人たちが「ひとり」を支えています。これらの職種が切れ目なく連携することは、介護や医療が必要になっても生活しやすい地域づくりに繋がるといえます。今回の研修では、医療と福祉、介護の連携をするうえで困難と思ったことについて、18グループから活発な意見が寄せられました。